

# 石油・ガス供給等に係る保安対策調査等委託費

令和3年度予算額 **5.6億円（5.6億円）**

## 事業の内容

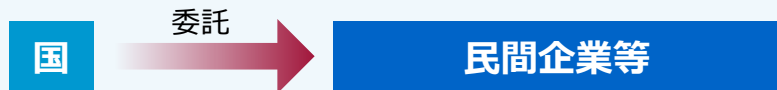
### 事業目的・概要

- 石油・ガスに係る事故を未然に防止するとともに、産業保安法令の技術基準等の制定・改正や制度設計を行うため、以下の事業等を実施します。
  - ・石油精製プラントや都市ガス・LPガス等の事故情報調査
  - ・石油精製プラント等へのCBMの導入、新認定事業所制度の制度運用の検討、リスクアセスメントの強化等、環境変化に対応した産業保安規制の検討
  - ・石油ガス等供給事業の保安確保に向けた技術調査・検討
- これらの事業により、石油・ガスの安定供給・資源の合理的開発と石油・ガスの精製・供給・消費等に係る保安の確保を図ります。

### 成果目標

- 本事業を通じ、石油・ガスに係る人的被害を伴う事故件数及び死傷者数を、現行の事故報告体制になって以降最少にすることを目指します。
- さらに、都市ガス・LPガスについては審議会を取りまとめた「保安対策指針」「ガス安全高度化計画」で設定した事故・死傷者数の減少を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### （1）石油精製業等に係る保安対策に関する調査検討

石油精製プラント等での重大事故の原因調査及び再発防止策の検討、事業者による事故原因・再発防止策の評価及び公表・周知等



「タイムベースメンテナンス(TBM)」から、「コンディションベースメンテナンス(CBM)」への転換による、より安全かつ効率的なプラント管理を実現するための規制導入に向けた調査検討

スーパー認定事業所・自主保安高度事業所制度に関する調査、現場力強化教育モデルプログラムの作成等、環境変化に対応した産業保安規制の検討

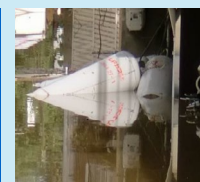
### （2）石油ガス等供給事業に係る保安対策に関する調査検討

#### ・LPガス容器の流出対策

大雨による土砂崩れや河川の氾濫等により、一般家庭等のLPガス容器が埋没・流出の被害が発生。設置容器への負荷実験及びシミュレーションにより、浸水を想定した効果的な容器の固定方法や容器流出防止等さらなる安全対策を確立。



流出した容器の位置情報、本数等の情報、一般消費者の被害状況、販売所等LPガス関係者の被害情報を集約、共有できる情報システムの開発。



#### ・事故発生原因分析調査

